

経営比較分析表（令和元年度決算）

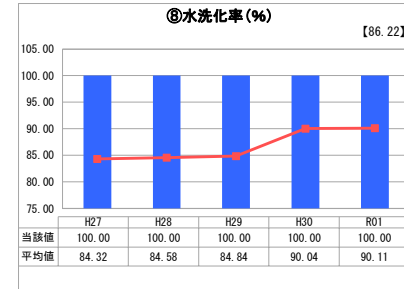
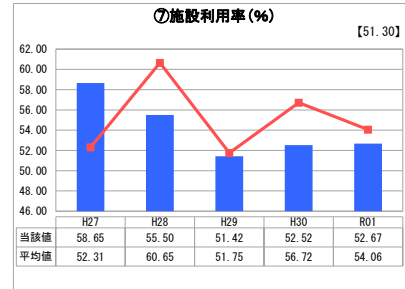
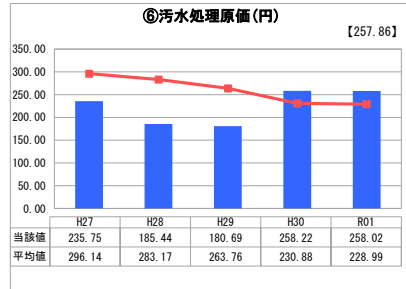
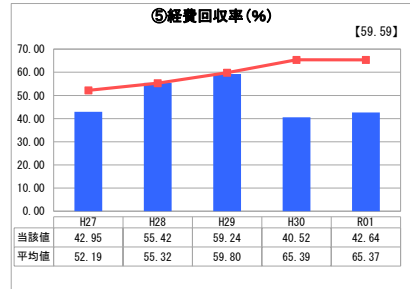
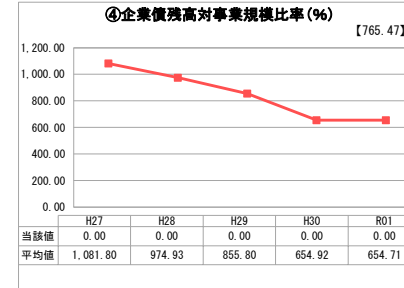
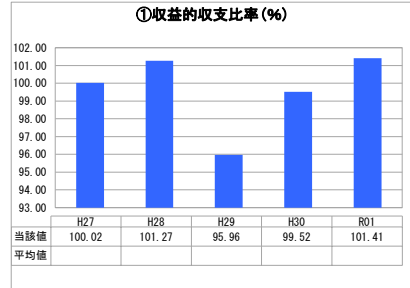
埼玉県 越生町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	10.31	83.00	1,925

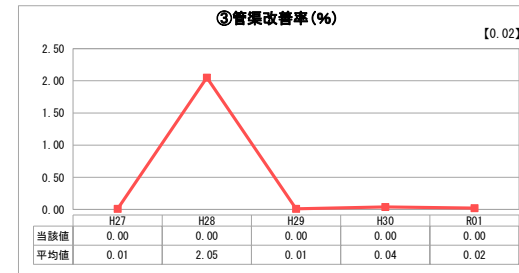
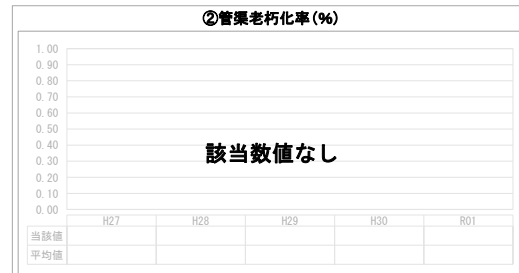
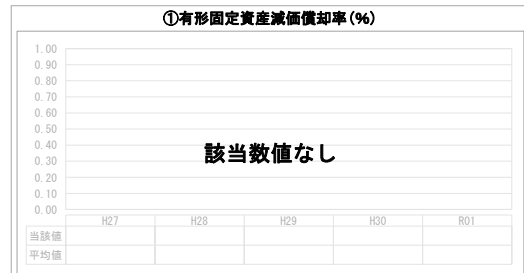
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,567	40.39	286.38
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,185	1.24	955.65

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は100%を上回っているが、経費回収率については、平均値を大きく下回っており、低水準である。
 そのため、使用料金を適正な額に改定し、経費回収率を上げたいが、公共下水道組合と使用料金を同等としているため、使用料金を増額するのは難しい状況である。
 施設利用率は微増したが、汚水処理原価は平均よりも高くなっている。数値を見ると増減を繰り返しているため、今後数年間は同じ状況が続くと考えられる。

2. 老朽化の状況について

施設の機器について老朽化等により、不具合・故障が増加してきているので、引き続き、緊急性・重要性を考慮し、効率的に修繕・交換等を行いたいと考えている。

全体総括

施設の機器の老朽化等により修繕費等の各費用が増加傾向であり、各指標も平均と比較し低水準なものもあるので、今後は主に緊急性・重要性を考慮し、効率的に機器の修繕・交換等を行いたいと考えている。今後、施設利用率は横ばいの状況が数年続くとは考えられるが、浄化槽から集落排水への移行案内チラシを配布するなどを行い、施設利用率を上げていきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。